オーディオ実験室収載

カートリッジの比較試聴(5)
―ZYX R100-2 の予備試聴―

１．はじめに

カートリッジの比較試聴に先立ち、条件設定についてある程度の絞り込みを行うため、借用してきた ZYX の R100-2 の試聴を行いました。

２．ZYX R100-2 の試聴条件

借用してきた R100-2 には Ortofon のシェルがついていました。R100-2 は MC 型でインピーダンスは 4Ω、推奨針圧は 1.8～2.5g です。従って、トランスは前報(3)で急遽追加した ST-7 と Northern Electric および BYER を使用してみます。

プレイヤーは LP-12 とし、トランスの出力を L/R 独立 2 台使用の iPhono の MM ポジションに入力します。

３．ZYX R100-2 の試聴結果

ZYX R100-2 は ST-7 との組み合わせでワイドレンジでありながら艶もあり、ZYX R100-2 の特徴を良く活かした鳴り方をします。

Northern Electric はワイドレンジで緻密と思っていましたが、ST-7 に比べるとやや劣るところがあり、明るく華やかなところがあります。ところがデッカカーブからコロンビアカーブにしますと、高域が抑えられて落ち着いた音になります。

BYER は ST-7 よりレンジは狭まり、少し肌理があらくなりますが、独特の艶っぽさはあります。

４．まとめ

比較試聴では多くの組みあわせがあるため、インピーダンス適合上、汎用性のある ST-7 でスクリーニングをかけながら、適宜 Northern Electric および BYER を使用し

てみます。

以上